

第3回臨時会で決まったこと

第3回臨時会が5月15日に招集されました。
工事請負契約の締結について及び物品購入契約の締結について審議し、可決となりました。

契約の締結

可決

議案第30号

▽工事請負契約の締結について

契約の目的

令和7年度 ホロルの湯
大規模改修工事（空調設
備改修及び屋上防水改修）

契約の金額

2億372万円

契約の相手方

水戸市酒門町4814番
地の1
株式会社新栄設備工業

可決

議案第31号

▽物品購入契約の締結について

契約の目的

令和7年度城里町立中
学校習者用コンピュータ
機器等購入（学習用タ
ブレット端末416台）

契約の金額

1,971万7,984円

契約の相手方

水戸市元吉田町1074
番地の1
リコージャパン株式会社
デジタルサービス営業本
部 茨城支社

反対討論

議案第30号に対する

猿田 正純 議員

落札価格が予定価格を下回った金額で入札されている。かつて1円入札があった時、どこにもメリットがない理由で、この様な入札は廃止された。国がこの様な手法を推奨していると言うが、私には理解できない。町長が町の要綱を勝手に変更すれば何でも出来てしまうのか。メンテの緊急対応策にも不安が残る。これまで1億を超える入札は、町内企業の育成を含めJV（共同企業体）を組んできたが、なぜ共同企業体を組まないのか。強引な手法での行政はやめて欲しい。

第4回臨時会で決まったこと

第4回臨時会が6月17日に招集されました。
工事請負契約の締結について及び補正予算について審議し、議案第38号「工事請負契約の締結について」は否決されました。

契約の締結

否決

議案第38号

▽工事請負契約の締結について

契約の目的

令和7年度 道の駅かつら
ら移転事業建築工事

契約の金額

16億798万円

契約の相手方

水戸市けやき台3丁目62
番地1
株式会社大貫工務店

補正予算

可決

議案第39号

▽令和7年度城里町一般会計
補正予算（第2号）について

追加補正額

81,72万7千円

予算総額

134億2,113万3千円

主な事業

・元氣アップ振興券事業
（第8弾）
・定額減税補足給付金事業

議案第38号

▷工事請負契約の締結について

4名の反対討論がありました。

反対討論

加藤木直 議員

道の駅かつらの移転建設事業には賛同するが、現行計画では地域資源や生産者の視点が軽視されており、「建てること」ばかりが先行している。赤ネギ（レッドポアロー）や七会米といった町自慢の特産品を活かした販売・ブランディング戦略が全く見えてこない。

また、搬入導線や駐車場の不足、高齢者の利便性も懸念されている。運営体制や人材育成、具体的なマーケティング計画は白紙同然だ。成功する道の駅に必要なのは、「見た目」ではなく、地域と共に育てる中身の充実だ。

よって現行においての執行は尚早である。

反対討論

藤咲 芙美子 議員

待ちに待った道の駅、早く建設をと願う気持ちは住民とともに変わりない。住民が安全かつ安心に利用でき、町民に喜ばれる道の駅でなければならぬ。

しかし、町の重要な施設に1社で関わることは、町内の業者育成の点から見ても問題だ。入札でも、予定価格より低い低入札価格で落札した場合、要綱どおり行っていれば、数日かけて調査審議するものだが、開札当日に町長の手元にわたっている。正規の手続きを行っているとさえ思えない。

造成工事ではスロープ利用時、歩行者側の壁側に配水管が露出している。雨の日など危険だ。

反対討論

金長 秀範 議員

造成工事現場を観た65歳以上の特に女性の方から、安全面での危険性・不安視する多くの声を戴いた。

現状のままのオープンでは転倒や接触事故を含む交通事故、最悪の場合人の命に関わる事案が発生する。天候次第でリスクは倍増。自治体がつくる公共事業は、安全面での担保を図ることが基本で当然の義務。何も対策を講じず取り返しのつかない事故が起きてからでは遅い。

もう一度再考して、30年後も誇れる道の駅かつらであって欲しい。

反対討論

猿田 正純 議員

過去、1町2村合併時より、1億円を超えた物件は地元企業との企業体が通常であったが、今回は単独事業だ。諸納税、雇用の問題、将来にわたってのアフターサービスなどの懸念がある。

また、地盤整備の検査も完了する前で、地元業者に支払いもしていないのに、本建物の入札公募を4日前も前から行うのは理解できない。

町長は町内業者は高いからと締め出し続け、今回低入札価格をOKして、入り込めない様とどめを刺そうとしている。町内の景気低迷を良く知って欲しい。